

## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	IT マネジメント・ストラテジ概説			時間数	36	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学年	1	開講期	2期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> 基本情報技術者試験 (FE) のコンピュータ概説に相当する分野</p> <p><b>【達成目標】</b> FE 午前免除試験の相当分野の問題を解くことができる</p>						
授業内容							
1 週目	ガイダンス・プロジェクトマネジメント (1)						
2 週目	プロジェクトマネジメント (2)						
3 週目	サービスマネジメント						
4 週目	システム監査						
5 週目	1週目から4週目までのまとめと復習						
6 週目	システム戦略・システム企画						
7 週目	経営／技術戦略マネジメント						
8 週目	ビジネスインダストリ						
9 週目	6 週目から 8 週目までのまとめと復習およびテスト						
受講資格	特になし						
教材参考文献	特になし						
成績評価	毎週の小テストと 9 週目に行われテスト、および平常点の合計で評価する。						
履修上の注意							



## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス				時間数	72	単位数	
科目名	Javaプログラミング a			時間数	72	単位数	
区分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学年	1	開講期	1期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> Javaに関してこれから学んでいく上で必要となるPC操作実習を行う。 Javaプログラミングの初歩（コーディング、コンパイル、実行）について講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> 統合開発環境の使い方およびJavaプログラムの基本構造が理解できるようになる。 与えられた課題をJava言語でコーディング、コンパイル、テスト、実行できるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1週目	ガイダンス						
2週目	<p>プログラム言語についての概要説明。</p> <p>プログラム体験。 統合開発環境環境を構築して、Javaプログラムの動作体験をする。</p>						
3週目	<p>Javaプログラムの基本構造を理解する。（データ型の種類と役割を学ぶ）</p> <p>Javaプログラムの基本構造を理解する。（変数の使い方を学ぶ） 演習問題を通して変数の使い方を定着させる。</p>						
4週目	<p>Javaプログラムの基本構造を理解する。（変数の活用方法を学ぶ）</p> <p>Javaプログラムの基本構造を理解する。（算術演算子、式、型変換等の基本構造を学ぶ） 演習問題を通して変数の活用方法、基本構造を定着させる。</p>						
5週目	<p>Javaプログラムの基本構造を理解する。（利用頻度の高いJavaライブラリクラスを学ぶ）</p> <p>演習問題を通して学習でよく利用するJavaライブラリクラスの使い方を定着させる。</p>						
6週目	<p>Javaプログラムの基本構造の復習。</p> <p>復習問題を通して、Javaの基本構造を定着させる。</p>						
7週目	<p>分岐構文（if-else文、if-else文、switch文）について理解する。</p> <p>演習問題を通して分岐構文の使い方を定着させる。</p>						
8週目	<p>繰り返し構文（for文、while文、do-while文）について理解する。</p> <p>演習問題を通して繰り返し構文の使い方を定着させる。</p>						
9週目	復習、期末テスト、期末テスト解説						
受講資格							

教材 参考文献	
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する
履修上の 注意	

成績評価の割合 (%)

出席率	実技力	定期試験				合計
20%	30%	50%				100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験 2 年
山本 雅一	○	電機機器製造メーカーに勤務し、大型コンピュータ、スーパーコンピュータの開発を担当。ハードウェア、ソフトウェア、J a v a に関する知見を有する。実務経験 33 年

## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	Javaプログラミング b			時間数	72	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	2 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> メソッドおよびオブジェクト指向プログラミングの基本的な考え方を講義する。 Javaプログラミングの構文について課題を中心に講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> メソッドおよびオブジェクト指向プログラミングの基本的な考え方が理解できるようになる。 与えられた課題を自分でコーディング、コンパイル、テスト、実行できるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	Javaプログラミングaの振り返り。 配列構文について理解する。 演習問題を通してJavaプログラミングaの内容と配列の使い方を定着させる。						
2 週目	分岐・繰り返し・配列・条件式を組み合わせたプログラム構造を理解する。						
3 週目	演習問題を通して配列までの処理をより定着させる。						
4 週目	メソッドの構造を理解する。(引数、戻り値の使い方を学ぶ) 演習問題を通してメソッドの基本的な使い方を定着させる。						
5 週目	メソッドの構造を理解する。(メソッドの活用方法、オーバーロードを学ぶ) 演習問題を通してメソッドの活用方法、オーバーロードについて定着させる。						
6 週目	オブジェクト指向-基礎を理解する。(オブジェクト指向の考え方を学ぶ) オブジェクト指向-基礎を理解する。(クラス分割の方法を学ぶ) オブジェクト指向-基礎を理解する。(オブジェクト指向プログラムの書き方を学ぶ) サンプルプログラムを元にオブジェクト指向プログラムの作成方法を体験させる。						
7 週目	オブジェクト指向-基礎を理解する。(インスタンスの使い方を学ぶ) 演習問題を通してインスタンスの使い方について定着させる。						
8 週目	オブジェクト指向-基礎を理解する。(コンストラクタの使い方を学ぶ) 演習問題を通してコンストラクタの使い方について定着させる。						
9 週目	復習、期末テスト、期末テスト解説						
受講資格							

教材 参考文献	
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する
履修上の 注意	

成績評価の割合 (%)

出席率	実技力	定期試験				合計
20%	30%	50%				100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験2年
山本 雅一	○	電機機器製造メーカーに勤務し、大型コンピュータ、スーパーコンピュータの開発を担当。ハードウェア、ソフトウェア、Javaに関する知見を有する。実務経験33年

## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス				時間数	72	単位数	
科目名	Javaプログラミングc			時間数	72	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	3期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> オブジェクト指向プログラミングの活用とJavaの応用的な技術について講義する。 Javaプログラミング技術のレベルアップを図るため課題を中心に講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> 与えられた課題を自分で解析しプログラム設計を行いコーディング、コンパイル、テスト、実行できるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	Javaプログラミングbの振り返り。 オブジェクト指向-基礎の復習問題を通してオブジェクト指向プログラミングの基本処理をより定着させる。						
2 週目	オブジェクト指向-応用を理解する。(アクセス修飾子、静的メンバを学ぶ) オブジェクト指向-応用を理解する。(カプセル化の考え方および使い方を学ぶ) 演習問題を通してカプセル化の使い方を定着させる。						
3 週目	オブジェクト指向-応用を理解する。(継承の使い方を学ぶ) 演習問題を通して継承の使い方を定着させる。						
4 週目	オブジェクト指向-応用を理解する。 (抽象クラス・インタフェース・ポリモーフィズムの使い方を学ぶ) 演習問題を通して抽象クラス・インタフェース・ポリモーフィズムの使い方を定着させる。						
5 週目	オブジェクト指向全容の振り返り。 オブジェクト指向-応用の復習問題を通してオブジェクト指向プログラミングの処理全容をより定着させる。						
6 週目	例外処理の使い方を理解する。(例外の発生理由について学ぶ) 例外処理の使い方を理解する。(例外処理の使い方を学ぶ) 演習問題を通して例外処理の使い方を定着させる。						
7 週目	コレクションフレームワークの使い方を理解する。(List、Map、Setクラスを学ぶ) 演習問題を通してList、Map、Setクラスの基本的な使い方を理解させる。						
8 週目	コレクションフレームワークの使い方を理解する。 (ListとMapクラスを組み合わせたプログラム構造を学ぶ) 演習問題を通してコレクションフレームワークの活用方法を定着させる。						
9 週目	復習、期末テスト、期末テスト解説						

受講資格	
教材 参考文献	
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する
履修上の 注意	

成績評価の割合 (%)

出席率	実技力	定期試験				合計
20%	30%	50%				100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験2年
山本 雅一	○	電機機器製造メーカーに勤務し、大型コンピュータ、スーパーコンピュータの開発を担当。ハードウェア、ソフトウェア、Javaに関する知見を有する。実務経験33年



## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	Javaプログラミング d			時間数	72	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	4 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> Javaの応用的な技術について講義する。 Javaプログラミング技術のレベルアップを図るため課題を中心に講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> 与えられた課題を自分で解析しプログラム設計を行いコーディング、コンパイル、テスト、実行できるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	ラムダ式の使い方を理解する。(ラムダ式の文法について学ぶ) 演習問題を通してラムダ式の使い方を理解させる。						
2 週目	ラムダ式の使い方を理解する。(ストリームについて学ぶ)						
3 週目	演習問題を通してストリームの使い方を理解させる。						
4 週目	Javaの拡張機能を理解する。 演習問題を通してJavaの新しい機能の使い方を理解させる。						
5 週目	ファイル入出力の処理方法を理解する。(ファイルの読み込み方、書き込み方を学ぶ) 演習問題を通してファイル入出力の使い方を定着させる。						
6 週目	Webシステム構築方法を理解する。(環境構築方法と概要について学ぶ) サンプルプログラムを通してServletを使った環境構築の方法を体験させる。						
7 週目	Webシステム構築方法を理解する。(Servlet、JSPについて学ぶ)						
8 週目	演習問題を通してServletとJSPの使い方を理解させる。						
9 週目	復習、期末テスト、期末テスト解説						
受講資格							
教材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							

成績評価の割合 (%)

出席率	実技力	定期試験				合計
20%	30%	50%				100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験2年
山本 雅一	○	電機機器製造メーカーに勤務し、大型コンピュータ、スーパーコンピュータの開発を担当。ハードウェア、ソフトウェア、Javaに関する知見を有する。実務経験33年

## 令和2年度シラバス

<b>令和2年度シラバス</b>							
科目名	Python プログラミング a			時間数	36	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	3 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> Pythonプログラミングの基本を学習します。</p> <p><b>【達成目標】</b> Pythonで四則演算を行うプログラムが書けるようになる。ユーザ定義関数を使った処理が書けるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	Python とは、環境設定、Hello World						
2 週目	演算、変数、データ型、キャスト						
3 週目	リスト、タプル、辞書型、制御構文、インデント						
4 週目	ライブラリ（モジュール）のインポート、関数、ユーザ定義関数						
5 週目	クラス、継承						
6 週目	GUI、描画（矩形、円、楕円、線、多角形）						
7 週目	課題制作						
8 週目	課題制作						
9 週目	まとめ・期末試験						
受講資格							
教 材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							



## 令和2年度シラバス

<b>令和2年度シラバス</b>							
科目名	Python プログラミング b			時間数	36	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	4 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> ゲームを題材にPythonでGUIプログラムを作成する。</p> <p><b>【達成目標】</b> PythonでGUIのプログラムが書けるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	Python プログラミング a の復習 (CUI によるプログラミング)						
2 週目	GUI、画像の取り扱い						
3 週目	GUI、文字列の取り扱い						
4 週目	GUI、イベント処理 (マウスイベント、キーボードイベント)						
5 週目	GUI、ループ処理、タイマ処理						
6 週目	GUI、画像に関する関数						
7 週目	課題制作						
8 週目	課題制作						
9 週目	まとめ・期末試験						
受講資格	Pythonプログラミングaの内容を理解していること。						
教 材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							



## 令和2年度シラバス

<b>令和2年度シラバス</b>							
科目名	Web システム開発基礎 a			時間数	36	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学 年	1	開講期	3 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> HTML5/CSSを用いて、WebシステムのフロントエンドとなるWebページの制作技法を学習する。 ページレイアウトを中心に学習する。</p> <p><b>【達成目標】</b> DIV要素を使ったページレイアウトを作成できるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	HTML5/CSS の概要、基本構造タグ、CSS の記述法						
2 週目	文字の取り扱い						
3 週目	DIV要素、ボックスモデル、罫線、ページレイアウト						
4 週目	画像の取り扱い						
5 週目	リンク						
6 週目	テーブル						
7 週目	課題制作						
8 週目	課題制作						
9 週目	まとめ・期末試験						
受講資格							
教 材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							





## 令和2年度シラバス

<b>令和2年度シラバス</b>							
科目名	Web システム開発基礎 b			時間数	36	単位数	
区 分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学 年	1	開講期	4 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> HTML5/CSSを用いて、WebシステムのフロントエンドとなるWebページの制作技法を学習する。Dフォームを中心に学習する。</p> <p><b>【達成目標】</b> フォームを使った入力用Webページを作成できるようになる。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	HTML5/CSS の復習						
2 週目	フォーム、テキストボックス、ボタン						
3 週目	チェックボックス、ラジオボタン、リストボックス						
4 週目	フォーム部品で使われる属性						
5 週目	HTML5 で追加されたフォーム部品						
6 週目	テーブルとフォームの組み合わせ						
7 週目	課題制作						
8 週目	課題制作						
9 週目	まとめ・期末試験						
受講資格	Webシステム開発基礎aの内容を理解していること						
教 材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							



## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	オフィスソフト実習 a			時間数	36	単位数	
区分	実習	対象学 科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学年	1	開講期	1期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> パソコンの使い方や日本語入力の基本に関する講義及び実習を行う。 Officeソフト（Word）について講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> パソコンの操作、Officeソフト（Word）を使いこなせるようになる。また、学校生活において必須となるメール操作、クラスルームを使いこなせるようになる。</p>						
授業内容							
1週目	ガイダンス（第1週は授業なし）						
2週目	①1章 パソコンの操作と日本語入力の基本 ②タイピング練習（mikatype） ③2章 フォルダーやファイル操作の基本 ④メールの使い方						
3週目	①タイピング練習（mikatype）：授業開始10分間 ②3-1 Wordの基本、3-2 Word入力操作の基本、3-3 文字と段落書式 ③課題文書作成						
4週目	①タイピング練習（mikatype）：授業開始10分間 ②3-4 箇条書き 3-5 表の作成 ③課題文章作成						
5週目	①タイピング練習（mikatype）：授業開始10分間 ②3-6 グラフィック要素1、3-7 グラフィック要素2 3-8 グラフィック要素3 ③課題文章作成						
6週目	①タイピング練習（mikatype）：授業開始10分間 ②3-9 はがき作成 3-10 スマートアート ③課題文章						
7週目	①タイピング練習（mikatype）：授業開始10分間 ②3-11 レイアウトの工夫 3-12 長文作成に便利な機能 ③課題文書作成						
8週目	①タイピング練習（mikatype）：授業開始10分間 ②3-13 グリーティングカード 3-14 文書作成の応用1、3-15 文書作成応用2 ③課題文章作						
9週目	定期試験（理解度テスト、課題文書の作成）						
受講資格	特になし						
教材 参考文献	プリント、ミカタイプ 技術評論社：留学生のためのWord入門						
成績評価	毎回課題を出します。その評価点および、出席点をもって成績をつけます。						
履修上の注意	毎回の授業が大切なので、欠席のないようにしてください。						

成績評価の割合 (%)

出席率	実技力	定期試験				合計
20%	30%	50%				100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
田中 正彦	○	外資系コンピュータメーカーに勤務し、サービス技術部門、製品企画、品質管理を担当し、IT 製品品質向上業務に従事。IT を活用したプランニング・アナライズ分析に関して知見を有する。実務経験 30 年
隅岡 隆之	○	実務経験 16 年。医療機関の職員として複数病院の IT 化プロジェクトに従事。医療情報システムに関するセキュリティや機械学習や統計的手法によるデータマイニングといった、データの保護と利活用の両面に関する知見を有する。保有資格 情報処理安全確保支援士 (第 000943 号) データベーススペシャリスト ネットワークスペシャリスト 情報セキュリティ監査人補 医療情報技師

## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	オフィスソフト実習 b			時間数	36	単位数	
区分	実習	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学年	1	開講期	2期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> パソコンを使い方や日本語入力の基本に関する講義及び実習を行う。 Officeソフト（Excel）について講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> パソコンの操作、Officeソフト（Excel）を使いこなせるようになる。</p>						
授業内容							
1週目	② Excelの基本、セル操作の基本、セルの編集 ②課題Excel表の作成						
2週目	①表の編集、式と計算の基本 ②課題Excel表の作成						
3週目	①相対参照・絶対参照、表の式と計算 ②課題Excel表の作成						
4週目	①グラフ機能、棒グラフ、折れ線グラフ・箱ひげ図 ②課題Excel表の作成						
5週目	①シート間の参照と画像・図形の挿入、関数と数式の基本 ②課題Excel表の作成						
6週目	①条件分岐と論理式、データ抽出、データ並び替え ②課題Excel表の作成						
7週目	①データ分析その1						
8週目	①データ分析その2						
9週目	定期試験（理解度テスト、課題Excelの作成）						
受講資格	特になし						
教材 参考文献	プリント、ミカタイプ 技術評論社：留学生のためのExcel入門						
成績評価	毎回課題を出します。その評価点および、出席点をもって成績をつけます。						
履修上の注意	毎回の授業が大切なので、欠席のないようにしてください。						



## 令和2年度シラバス

科目名	オフィスソフト実習 c		時間数	36	単位数	
区分	実習	対象 学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学年	1	開講期 3期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> パソコンを使い方や日本語入力の基本に関する講義及び実習を行う。 Officeソフト（PowerPoint）について講義及び実習を行う。</p> <p><b>【達成目標】</b> パソコンの操作、Officeソフト（PowerPoint）を使いこなせるようになる。また、学校生活において必須となるメール操作、クラスルームを使いこなせるようになる。</p>					
授業内容						
1週目	①PowerPointの基本操作 ②課題表PowerPointスライドの作成					
2週目	①PowerPointのスライド作成（スライドの追加、変更、削除） ②課題表PowerPointスライドの作成					
3週目	①PowerPointのスライドデザインの変更 ②課題表PowerPointスライドの作成					
4週目	①表やグラフを作る ②課題表PowerPointスライドの作成					
5週目	①スライドに入れる図を作る ②課題表PowerPointスライドの作成					
6週目	①スライドに入れるイラスト、写真、動画の操作 ②課題表PowerPointスライドの作成					
7週目	①自分の国を紹介するスライドを作成し全員の前で発表					
8週目	①自分の国の産業や観光を紹介するスライドを作成し全員の前で発表					
9週目	定期試験（理解度テスト、課題スライドの作成）					
受講資格	特になし					
教材 参考文献	プリント、ミカタイプ 技術評論社：これからはじめる パワーポイントの本[PowerPoint 2016/2013 対応版]					
成績評価	毎回課題を出します。その評価点および、出席点をもって成績をつけます。					
履修上の注意	毎回の授業が大切なので、欠席のないようにしてください。					





## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	コンピュータシステム概説			時間数	36	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学年	1	講義	1期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> 基本情報技術者試験(FE)のコンピュータシステム概説に相当する分野 (留学生クラスはITパスポートレベル)</p> <p><b>【達成目標】</b> FE 午前免除試験の相当分野の問題を解くことができる (留学生クラスは IT パスポートレベル)</p>						
授業内容							
1 週目	ガイダンス・コンピュータの基本構成・CPU・記憶装置						
2 週目	磁気ディスク装置・入出力装置						
3 週目	システムの処理方式・システムの構成方式・クライアントサーバシステム						
4 週目	1週目から3週目までのまとめと復習						
5 週目	高信頼性設計・システムの性能評価・システムの信頼性						
6 週目	オペレーションシステム・ジョブ管理・タスク管理						
7 週目	記憶管理・ファイル管理・ソフトウェアの開発言語						
8 週目	言語プロセッサ・マルチメディア技術						
9 週目	5 週目から 8 週目までのまとめと復習およびテスト						
受講資格	特になし						
教材参考文献	特になし						
成績評価	毎週の小テストと 9 週目に行われテスト、および平常点の合計で評価する。						
履修上の注意							



## 令和2年度シラバス

科目名			時間数	単位数		
コンピュータ概説			36			
区分	講義	対象学科	学年	開講期	1期	
		IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	1			
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> 基本情報技術者試験(FE)のコンピュータ概説に相当する分野</p> <p><b>【達成目標】</b> FE 午前免除試験の相当分野の問題を解くことができる</p>					
授業内容						
1 週目	ガイダンス・離散数学・応用数学					
2 週目	情報／通信／計測・制御に関する理論					
3 週目	ヒューマンインターフェース・マルチメディア					
4 週目	1週目から3週目までのまとめと復習およびテスト					
5 週目	システム開発技術(1)					
6 週目	システム開発技術(2)					
7 週目	システム開発技術(3)					
8 週目	ソフトウェア開発管理技術					
9 週目	5 週目から 8 週目までのまとめと復習およびテスト					
受講資格	特になし					
教材 参考文献	基本技術者合格教本（技術評論社）					
成績評価	毎週の小テストと 9 週目に行われテスト、および平常点の合計で評価する。					
履修上の 注意						



## 令和2年度シラバス

<b>令和2年度シラバス</b>							
科目名	データベース技術			時間数	36	単位数	
区 分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	2 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> データベースについて講義資料を使い講義、復習シート記入、確認テストと項目毎にインプット学習、アウトプット学習を授業内で繰り返す。</p> <p><b>【達成目標】</b> データベースの種類、排他制御、ロック、正規化、SQLについて説明できるようになる。レベルは基本情報処理試験の問題で解答、説明できるレベルを目標とする。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	データベースとは？ / 関係データベースとは？ / 正規化						
2 週目	排他制御 / 2相コミットメント / ロック / 復旧処理						
3 週目	SQL (テーブルの定義・ビューの定義・データベースの定義)						
4 週目	SQL (データの抽出・データのグループ化・データの整列)						
5 週目	SQL (テーブルの結合・副問い合わせ [IN・EXISTS] )						
6 週目	SQL (データの格納・データの更新と削除・アクセス権限)						
7 週目	いろいろなデータベース / データベース分野の総合問題演習						
8 週目	正規化						
9 週目	まとめ・期末試験						
受講資格							
教 材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							



## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	ネットワーク技術			時間数	36	単位数	
区 分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	1期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> ネットワークについて講義資料を使い講義、復習シート記入、確認テストと項目毎にインプット学習、アウトプット学習を授業内で繰り返す。</p> <p><b>【達成目標】</b> ネットワークの成り立ち、通信プロトコル、OSIモデル、TCP/IPについて説明できるようになる。レベル は基本情報処理試験の問題で解答、説明できるレベルを目標とする。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	インターネットの仕組み						
2 週目	通信サービス (ADSL・FTTHなど) ・電子メール						
3 週目	通信プロトコル						
4 週目	ネットワーク方式 (LAN・WAN・LAN間接続装置・LANの規格)						
5 週目	WAN (フレームリレー・パケット交換・ATM など)						
6 週目	OSI基本参照モデル						
7 週目	IPアドレス / クラスとサブネット分割						
8 週目	同期方式・誤り制御と伝送計算						
9 週目	まとめ・期末試験						
受講資格							
教 材 参考文献							
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する						
履修上の 注 意							





## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	ホームルーム I a			時間数	18	単位数	
区 分	講義	対象 学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学 年	1	開講期	1 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b>            キャリア形成、就職活動など学生それぞれが抱えている問題の解決支援。            学校からの伝達事項を伝える。学業の進捗状況を見て、適宜補習を行う。            検定試験などの日程が近い場合は適宜補習や講座などを行う。            学校のイベントなどに積極的に参加できる雰囲気を作る。</p> <p><b>【達成目標】</b>            クラスの学生が目的を持ってキャリア形成ができるようになる。            また、就職活動について自分で希望の会社のリサーチ、決定できる力をつける。            履歴書が書けるようになる、また面接時の立ち振る舞いを身に付ける。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	キャリア形成の全体像（概要）						
2 週目	（学生生活指導、学修指導や検定試験、将来設計や就職に関わることなどを含む。） （学校からの伝達事項など。）						
3 週目							
4 週目	キャリア形成のために、今行うこと。						
5 週目	（学習と資格試験について。日本語能力試験や日本留学試験など） （学校からの伝達事項など。）						
6 週目							
7 週目	キャリア形成のため、今行うこと。						
8 週目	（学ぶ目的意識、勉学意識、基礎学力、教育内容への関心など。） （学校からの伝達事項など。）						
9 週目							
受講資格	特になし						
教 材 参考文献							
成績評価	授業態度、取り組み姿勢、出席状況によって評価する。						
履修上の 注 意	欠席のないようにしてください。						

成績評価の割合 (%)

出席率	授業態度	ミニテスト	定期テスト			合計
10%	10%	10%	70%			100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験 2年
田中 正彦	○	外資系コンピュータメーカーに勤務し、サービス技術部門、製品企画、品質管理を担当し、IT製品品質向上業務に従事。ITを活用したプランニング・アナライズ分析に関して知見を有する。実務経験 30年
吉野 太智		

平成 31 年度シラバス (1)				担当者			
科目名	ホームルーム I b			時間数	18	単位数	
区 分	講義	対象 学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoT ソフト科 AI サービス活用科	学 年	1	開講期	2 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b>            キャリア形成、就職活動など学生それぞれが抱えている問題の解決支援。            学校からの伝達事項を伝える。学業の進捗状況を見て、適宜補習を行う。            検定試験などの日程が近い場合は適宜補習や講座などを行う。            学校のイベントなどに積極的に参加できる雰囲気を作る。</p> <p><b>【達成目標】</b>            クラスの学生が目的を持ってキャリア形成ができるようになる。            また、就職活動について自分で希望の会社のリサーチ、決定できる力をつける。            履歴書が書けるようになる、また面接時の立ち振る舞いを身に付ける。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	キャリア形成のために、今行うこと。 (自分、将来、他者、仕事、成長といったことに主体的に向き合うことのできる力を作る、生きる力の根幹を作る→キャリア形成。自己分析。)						
2 週目							
3 週目	(学校からの伝達事項など。)						
4 週目	キャリア形成のために、今行うこと。 (自己の成長と自己分析。自己分析から得られるもの。)						
5 週目							
6 週目	(学校からの伝達事項など。)						
7 週目	キャリア形成のため、今行うこと。 (業界、職種：日本での業種、業界。職種とは。)						
8 週目							
9 週目	(学校からの伝達事項など。)						
受講資格	特になし						
教材・参考文献							
成績評価	授業態度、取り組み姿勢、出席状況によって評価する。						
履修上の注意	欠席のないようにしてください。						

成績評価の割合 (%)

出席率	授業態度	ミニテスト	定期テスト			合計
10%	10%	10%	70%			100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験 2年
田中 正彦	○	外資系コンピュータメーカーに勤務し、サービス技術部門、製品企画、品質管理を担当し、IT製品品質向上業務に従事。ITを活用したプランニング・アナライズ分析に関して知見を有する。実務経験 30年
吉野 太智		

平成 31 年度シラバス (1)				担当者			
科目名	ホームルーム I c			時間数	18	単位数	
区 分	講義	対象 学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学 年	1	開講期	3 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b>            キャリア形成、就職活動など学生それぞれが抱えている問題の解決支援。            学校からの伝達事項を伝える。学業の進捗状況を見て、適宜補習を行う。            検定試験などの日程が近い場合は適宜補習や講座などを行う。            学校のイベントなどに積極的に参加できる雰囲気を作る。</p> <p><b>【達成目標】</b>            クラスの学生が目的を持ってキャリア形成ができるようになる。            また、就職活動について自分で希望の会社のリサーチ、決定できる力をつける。            履歴書が書けるようになる、また面接時の立ち振る舞いを身に付ける。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	キャリア形成のために、今行うこと。 (資格試験対策：日本語能力試験や日本留学試験など)						
2 週目	(就職試験対策など)						
3 週目	(学校からの伝達事項など。)						
4 週目	キャリア形成のために、今行うこと。 (資格試験対策：日本語能力試験や日本留学試験など)						
5 週目	(就職試験対策など)						
6 週目	(学校からの伝達事項など。)						
7 週目	キャリア形成のため、今行うこと。 (資格試験対策：日本語能力試験や日本留学試験など)						
8 週目	(就職試験対策など)						
9 週目	(学校からの伝達事項など。)						
受講資格	特になし						
教 材 参考文献							
成績評価	授業態度、取り組み姿勢、出席状況によって評価する。						
履修上の	欠席のないようにしてください。						

成績評価の割合 (%)

出席率	授業態度	ミニテスト	定期テスト			合計
10%	10%	10%	70%			100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験 2年
田中 正彦	○	外資系コンピュータメーカーに勤務し、サービス技術部門、製品企画、品質管理を担当し、IT製品品質向上業務に従事。ITを活用したプランニング・アナライズ分析に関して知見を有する。実務経験 30年
吉野 太智		

平成 31 年度シラバス (1)				担当者			
科目名	ホームルーム I d			時間数	18	単位数	
区 分	講義	対象学 科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoT ソフト科 AI サービス活用科	学 年	1	開講期	4 期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b>            キャリア形成、就職活動など学生それぞれが抱えている問題の解決支援。            学校からの伝達事項を伝える。学業の進捗状況を見て、適宜補習を行う。            検定試験などの日程が近い場合は適宜補習や講座などを行う。            学校のイベントなどに積極的に参加できる雰囲気を作る。</p> <p><b>【達成目標】</b>            クラスの学生が目的を持ってキャリア形成ができるようになる。            また、就職活動について自分で希望の会社のリサーチ、決定できる力をつける。            履歴書が書けるようになる、また面接時の立ち振る舞いを身に付ける。</p>						
授 業 内 容							
1 週目	卒業後の進路について						
2 週目	(専門学校卒 留学生の 4 つの出口 ①日本国内で就職 ②日本国内で就職活動を継続 ③母国に帰国して就職 ④進学)						
3 週目	(学校からの伝達事項など。)						
4 週目	就職活動のスケジュールと準備						
5 週目	(日本での新卒採用のスケジュールとそのための準備について。)						
6 週目	(学校からの伝達事項など。)						
7 週目	就職活動の準備						
8 週目	(就職活動の準備について。履歴書作成指導、求人情報の入手方法、応募から就職試験・面接までの流れ、試験対策、面接練習)						
9 週目	(学校からの伝達事項など。)						
受講資格	特になし						
教材参考文献							
成績評価	授業態度、取り組み姿勢、出席状況によって評価する。						
履修上の 注 意	欠席のないようにしてください。						

成績評価の割合 (%)

出席率	授業態度	ミニテスト	定期テスト			合計
10%	10%	10%	70%			100%

担当教員

氏名	実務経験	実務経験の内容
花島 恒登	○	独立系システム開発会社に勤務し、自社システムの開発を担当。C言語、ネットワーク等に関する知見を有する。実務経験 2年
田中 正彦	○	外資系コンピュータメーカーに勤務し、サービス技術部門、製品企画、品質管理を担当し、IT製品品質向上業務に従事。ITを活用したプランニング・アナライズ分析に関して知見を有する。実務経験 30年
吉野 太智		



## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	基本情報対策演習 a			時間数	36	単位数	
区 分	講義	対象学 科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期	3
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業概要：基本情報技術者試験の午前問題に属する項目を体系的に学び、試験問題の出題意図を確実に把握し正答できるよう、過去問題をe-Learningによりセルフペースで解き進める。（原則、教室での集合形式授業。担当教員による学習指導も行う）</li> <li>・ 達成目標：関連する基本情報者試験の過去問題を解答できる。</li> </ul>						
授 業 内 容							
1 週目	基本情報技術者試験の概要（シラバス / 他の試験との関係） <b>【基礎理論】</b> （離散数学 / 応用数学 / 情報理論 / 通信理論 / 計測・制御理論） 関連試験問題						
2 週目	<b>【基礎理論】</b> （データ構造 / アルゴリズム / プログラミング） 関連試験問題						
3 週目	<b>【コンピュータシステム】</b> （コンピュータ構成要素 / システム構成要素 / ソフトウェア / ハードウェア） 関連試験問題						
4 週目	<b>【技術要素】</b> （ヒューマンインタフェース / マルチメディア / データベース①） 関連試験問題						
5 週目	<b>【技術要素】</b> （データベース② / ネットワーク①） 関連試験問題						
6 週目	<b>【技術要素】</b> （ネットワーク② / セキュリティ） 関連試験問題						
7 週目	<b>【開発技術】</b> （システム開発技術 / ソフトウェア開発管理技術） <b>【プロジェクトマネジメント】</b> （プロジェクトマネジメント） <b>【サービスマネジメント】</b> （サービスマネジメント / システム監査） <b>【システム戦略】</b> （システム戦略 / システム企画） 関連試験問題						
8 週目	<b>【経営戦略】</b> （経営戦略マネジメント / 技術戦略マネジメント / ビジネスインダストリ） <b>【企業と法務】</b> （企業活動 / 法務） <b>【計算問題対策】</b> 関連試験問題						





## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	基本情報対策演習 b			時間数	36	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学年	1	開講期	3
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業概要：基本情報技術者試験の午後問題を参考として、出題意図を確実に把握し正答できるよう、過去問題をe-Learningによりセルフペースで解き進める。午後試験内容の見直し(IPA発表 2019年1月24日)を教育内容にも反映する。(原則、教室での集合形式授業。担当教員による学習指導も行う)</li> <li>・ 達成目標：関連する基本情報者試験の過去問題を解答できる。</li> </ul>						
授 業 内 容							
1 週目	<b>【情報セキュリティ】</b> (SSHを利用した通信 / 情報漏えい対策 / ネットワークのセキュリティ対策 / ログ管理 / システムのセキュリティ / Webサーバのセキュリティ) 関連試験問題						
2 週目	<b>【ソフトウェア】</b> (コンパイラの機能 / リスト構造 / 仮想記憶方式 / 言語処理系 / OSの役割) 関連試験問題						
3 週目	<b>【ハードウェア】</b> (温度モニタ / 浮動小数点数 / 機械語命令 / 論理演算と加算器 / ビットパターン) 関連試験問題						
4 週目	<b>【データベース】</b> (派生表とビュー表 / SQL-DDLと制約 / データベースの運用 / データベースの設計/ DBの設計と運用) 関連試験問題						
5 週目	<b>【ネットワーク】</b> (無線LANのデータ送信 / イーサネットを介した通信 / インターネットプロトコル/ DNSの仕組み / スループットの改善) 関連試験問題						
6 週目	<b>【ソフトウェア設計】</b> (コントロールブレイク処理 / シーケンス図による設計 / 決定表による設計 / オブジェクト指向設計 / マッチング処理) 関連試験問題						
7 週目	<b>【プロジェクトマネジメント】</b> (工数と要員数 / リスクマネジメント / 進捗管理 / 実績管理 / 品質管理) 関連試験問題  <b>【サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略・企業と法務】</b> (業務改善 / 財務諸表の分析 / 業績改善 / システムの投資評価 / 需要予測 / 在庫管理) 関連試験問題						



## 令和2年度シラバス

令和2年度シラバス							
科目名	基本情報対策演習 c			時間数	36	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学年	1	開講期	4
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業概要：アルゴリズムとプログラミングの基本を理解し、基本情報技術者試験の午後問題のプログラミング関連を中心に学ぶ。試験問題の出題意図を確実に把握し正答できるよう、過去問題を実際に解き進める。午後試験内容の見直し(IPA発表 2019年1月24日)を教育内容にも反映する。 (原則、教室での集合形式授業。担当教員による学習指導も行う)</li> <li>・達成目標：関連する基本情報者試験の過去問題を解答できる。</li> </ul>						
授 業 内 容							
1 週目	アルゴリズムの基本 (記号 / 流れ図 / 処理とプログラム流れ図 / 構造化) 関連問題						
2 週目	疑似言語の基礎 (記述形式 / 処理) 関連問題						
3 週目	ソフトウェア開発言語の概要 (C / Java / Python / アセンブラ / 表計算ソフト)						
4 週目	アルゴリズム対策 (配列と文字列探索 / 最短経路の探索) 関連問題						
5 週目	アルゴリズム対策 (配列と関数の処理 / 文字列の照合) 関連問題						
6 週目	アルゴリズム対策 (配列アルゴリズム / グラフの最短距離) 関連問題						
7 週目	アルゴリズム対策 (圧縮と復元処理 / ビット操作と論理演算) 関連問題						
8 週目	総復習						
9 週目	期末試験						
受講資格							



## 令和2年度シラバス

科目名	情報セキュリティ概説			時間数	36	単位数
区 分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学 年	1	開講期 2期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b> セキュリティに関して講義資料を使い講義、復習シート記入、確認テストと項目毎にインプット学習、アウトプット学習を授業内で繰り返す。</p> <p><b>【達成目標】</b> 情報セキュリティのインシデント管理や関連法規など、情報セキュリティマネジメント試験と関わる内容について解答できるようになる。</p>					
授 業 内 容						
1 週目	情報セキュリティ					
2 週目	ユーザ認証とアクセス管理					
3 週目	ネットワークセキュリティ (FW、DMZなど)					
4 週目	コンピュータウイルス					
5 週目	暗号化技術 (共通鍵暗号方式・公開鍵暗号方式)					
6 週目	デジタル署名					
7 週目	情報セキュリティインシデント管理					
8 週目	情報セキュリティ関連法規					
9 週目	まとめ・期末試験					
受講資格						
教 材 参考文献						
成績評価	出席状況、受講態度、提出物、期末試験により総合的に評価する					
履修上の 注 意						





## 令和2年度シラバス

科目名				時間数	18	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AIサービス活用科	学年	1	開講期	1期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語のベースになる基本的な文法を理解するとともに、その構文を使った英会話で実践的な練習をする。</li> <li>言葉として実際に通じる英語を学ぶ（発音、イントネーション、フレーズの強化）</li> <li>言語の裏にある外国文化（英米国）を紹介し、異文化理解を図る</li> <li>メインテキスト（Interchange Level1）のほかに、文法強化のために「Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル」、「くもんの中学英文法」を並行して使用。また、就職活動のために、「一般常識問題集」より英語の内容を学習する。</li> </ul> <p><b>【達成目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な英文法の理解</li> <li>言語の後ろにある外国（英米）の文化理解を深める</li> <li>簡単な英会話で自分について話ができるようになる</li> <li>英語に対する苦手感、拒否感を緩和させる</li> <li>就職活動の際のSPI および一般常識問題の英語問題を解けるようにする</li> </ul>						
授業内容							
1週目	ガイダンス（第1週は授業なし）						
2週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のガイダンス</li> <li>英語での自己紹介（英会話）</li> <li>Lesson 1 Please call me Beth (文章読解 (where are you from?), Speaking(checking information))</li> <li>英語の基礎文型 (5文型 第1文型)</li> </ul>						
3週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文型 (5文型 第2文型)</li> <li>Lesson 1 Please call me Beth (文章読解(What's Seoul like?), 発音 (音の連結)、文法1 (be 動詞、主格/所有格/目的格)、文法演習問題、文法2 (5Wh+1Hの関係詞疑問文)、文法演習問題)</li> <li>国によるあいさつの仕方</li> </ul>						
4週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文型 (5文型 第3文型)</li> <li>Lesson 1 Please call me Beth (文章読解(How's it going?), 文法3 (Be 動詞の疑問文)、文法演習問題、Word Power (Hello/ Good bye 表現方法)、listening (What's your last name again?), Reading (What's in a Name?))</li> </ul>						
5週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文型 (5文型 第4文型)</li> <li>Lesson 2 What do you do? (Word Power (仕事の単語)、Writing (work and workplace)、文章読解 (Where do you work?))</li> <li>日米の学生に人気のアルバイト</li> <li>アメリカのアルバイト最低賃金とチップ制について</li> </ul>						
6週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文型 (5文型 第5文型)</li> <li>Lesson 2 What do you do? (文章読解 (Where do you work?), 文法1 (現在形、3人称 S、Wh 疑問文)、文法演習問題、文章読解 (I start work at five))</li> </ul>						
7週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎文型 (5文型 まとめ)</li> <li>Lesson 2 What do you do? (発音 (Syllable stress)、文法2(Time expression 時間を表す前置詞)、文法演習問題、文章読解 &amp; Listening (Daily Schedules) , Reading (Why do you need a job?))</li> </ul>						



# 令和2年度シラバス

			担当者	藤本亜紀子			
科目名	情報基礎英語 I b			時間数	18	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoT ソフト科 AI サービス活用科	学年	1	開講期	2期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語のベースになる基本的な文法を理解するとともに、その構文を使った英会話で実践的な練習をする。</li> <li>言葉として実際に通じる英語を学ぶ（発音、イントネーション、フレーズの強化）</li> <li>言語の裏にある外国文化（英米国）を紹介し、異文化理解を図る</li> <li>メインテキスト（Interchange Level1）のほかに、文法強化のために「Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル」、「くもんの中学英文法」を並行して使用。また、就職活動のために、「一般常識問題集」より英語の内容を学習する。</li> </ul> <p><b>【達成目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な英文法の理解</li> <li>言語の後ろにある外国（英米）の文化理解を深める</li> <li>簡単な英会話で自分について話ができるようになる</li> <li>英語に対する苦手感、拒否感を緩和させる             <ul style="list-style-type: none"> <li>就職活動の際のSPI および一般常識問題の英語問題を解けるようにする</li> </ul> </li> </ul>						
授業内容							
1週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>1Q 期末テスト解説、直し</li> <li>Lesson 3 How much is it (snapshot (アメリカでの色があらかず意味))</li> </ul>						
2週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 3 How much is it (文章読解 (It's really pretty)、文法1 (One, ones の使い方)、文法演習問題)</li> <li>世界の物価 (ビックマック指数)</li> </ul>						
3週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 3 How much is it (発音 (sentence stress)、Word Power (素材に関する単語)、文章読解 (I prefer the blue one)、文法2 (比較級、Prefer の使い方)</li> </ul>						
4週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 3 How much is it (文法2 復習 (比較級、Prefer の使い方)、文法演習問題)</li> <li>世界の通貨記号について</li> <li>Lesson 4 I really like hip-pop (Word power (エンターテイメントに関する単語))</li> </ul>						
5週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 4 I really like hip-pop (文章読解 (Who's your favorite singer?)、文法1 (一般動詞、関係詞疑問文)、文法演習問題)</li> <li>音楽のカテゴリーについて</li> </ul>						
6週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 4 I really like hip-pop (発音 (イントネーション)、Speaking (What kind of ... do you like?)、文章読解 (An invitation))</li> <li>時刻の読み方</li> <li>米英で異なる単語について</li> </ul>						



# 令和2年度シラバス

担当者	藤本亜紀子
-----	-------

科目名	情報基礎英語 I c		時間数	18	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学年	1	開講期 3期

授業目標	<p><b>【授業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語のベースになる基本的な文法を理解するとともに、その構文を使った英会話で実践的な練習をする。</li> <li>言葉として実際に通じる英語を学ぶ（発音、イントネーション、フレーズの強化）</li> <li>言語の裏にある外国文化（英米国）を紹介し、異文化理解を図る</li> <li>メインテキスト（Interchange Level1）のほかに、文法強化のために「Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル」、「くもんの中学英文法」を並行して使用。また、就職活動のために、「一般常識問題集」より英語の内容を学習する。</li> </ul> <p><b>【達成目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な英文法の理解</li> <li>言語の後ろにある外国（英米）の文化理解を深める</li> <li>簡単な英会話で自分について話ができるようになる</li> <li>英語に対する苦手感、拒否感を緩和させる</li> <li>就職活動の際のSPI および一般常識問題の英語問題を解けるようにする</li> </ul>
------	--

## 授業内容

1週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>2Qテストの解説と直し</li> <li>Lesson 5 I come from a big family (単語 (family tree:家族、親戚に関する単語) )</li> </ul>
2週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 5 I come from a big family (文章読解 (Asking about families)、発音 (イントネーション)、文法1 (現在形と現在進行形の違い) )</li> <li>有名企業の名前の由来について紹介 (Amazon, NIKE, Coca-Cola, Adobe, SEGA, Skype, カルビー etc.)</li> </ul>
3週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 5 I come from a big family (文法1 (現在進行形)、文法演習問題、Snapshot (What's typical?)、文章読解 (Is that typical?))</li> <li>Sinking Ship Joke (各国の典型的な国民性を表したジョークの紹介)</li> <li>中国の1人っこ政策について</li> </ul>
4週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 5 I come from a big family (文法2 (数量を表す副詞)、文法演習問題)</li> <li>Lesson 6 How often do you exercise? (単語 (フィットネスアクティビティに関する単語)、Word power (スポーツに関する単語、スポーツに使う動詞の組み合わせについて))</li> <li>アメリカと日本のフィットネス人口と健康志向</li> </ul>
5週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 6 How often do you exercise? (Word power 復習 (スポーツに使う動詞の組み合わせの復習)、文章読解 (I hardly ever exercise)、文法1 (頻度を表す副詞))</li> <li>英語での年齢層別呼称を知る</li> </ul>



# 令和2年度シラバス

担当者	藤本亜紀子
-----	-------

科目名	情報基礎英語 I d			時間数	18	単位数	
区分	講義	対象学科	IT・ゲームソフト科 ロボット・IoTソフト科 AI サービス活用科	学年	1	開講期	4期
授業目標	<p><b>【授業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語のベースになる基本的な文法を理解するとともに、その構文を使った英会話で実践的な練習をする。</li> <li>言葉として実際に通じる英語を学ぶ（発音、イントネーション、フレーズの強化）</li> <li>言語の裏にある外国文化（英米国）を紹介し、異文化理解を図る</li> <li>メインテキスト（Interchange Level1）のほかに、文法強化のために「Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル」、「くもんの中学英文法」を並行して使用。また、就職活動のために、「一般常識問題集」より英語の内容を学習する。</li> </ul> <p><b>【達成目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な英文法の理解</li> <li>言語の後ろにある外国（英米）の文化理解を深める</li> <li>簡単な英会話で自分について話ができるようになる</li> <li>英語に対する苦手感、拒否感を緩和させる</li> <li>就職活動の際のSPI および一般常識問題の英語問題を解けるようにする</li> </ul>						
授業内容							
1週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>3Qテストの解説と直し</li> <li>Lesson 7 We had a great time! (単語 (レジャーに関する単語) )</li> <li>日米の余暇の過ごし方について統計を紹介</li> </ul>						
2週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 7 We had a great time! (文章読解 (Did you do anything special?)、文法1 (過去形、動詞の規則・不規則変化)、文法演習問題、発音 (連結音について))、</li> <li>日本の年齢による余暇の過ごし方の違いについて (統計紹介)</li> </ul>						
3週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 7 We had a great time! (文法1 復習 (過去形の構文の作り方、動詞の変化)、Word Power (家事やレジャーに関するコロケーション)、文章読解 (How was your vacation?))</li> </ul>						
4週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 7 We had a great time! (文法2 (Be 動詞の過去形、構文の作り方)、文法演習問題)</li> <li>Lesson 8 What's your neighborhood like? (単語 (場所を表す単語)、Word and Definitions)</li> <li>アメリカの美容院事情</li> <li>美容院と理容院のちがいは？</li> </ul>						
5週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般常識問題</li> <li>Lesson 8 What's your neighborhood like? (文章読解 (I'm your new neighbor)、文法1 (位置を表す前置詞)、単語 (近所にあるお店など)、文法2 (There is / There are 構文))</li> <li>アメリカのランドリー事情 (洗濯に関する単語の紹介)</li> </ul>						





